



2018年（平成30年）2月6日

2月11日（日・祝）から 都心直通用 新型車両「20000系」がデビュー 相鉄線 横浜駅で出発式も開催

相模鉄道株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・滝澤秀之）では、2018年（平成30年）2月11日（日・祝）午前10時30分に相鉄線 横浜駅を出発する「特急 海老名行き」から都心直通用 新型車両「20000系」の営業運転を開始します。

この車両は、「デザインブランドアッププロジェクト※」の統一コンセプトを反映した新型車両としては第1号となるもので、2022年度（平成34年度）下期に開業を予定している相鉄・東急直通線の車両として導入します。横浜を象徴する濃紺色の「ヨコハマネイビーブルー」で外観を塗装し、車内には着席されるお客さまへの干渉を緩和するために座席端部に強化ガラス製の大型仕切り板を採用。また、座席下に大型の荷物を収納でき、立ち座りが容易にできる「ユニバーサルデザインシート」を初めて導入しました。

㈱日立製作所 笠戸事業所（山口県下松市）で製造され、2017年（平成29年）8月に約950km、35時間以上かけて車両センターまで輸送された後、車両の整備や各種試験、乗務員の訓練等を行いデビューに至りました。今後は、都心との相互直通運転を開始するまで他の車両と同じように相鉄線内で運行します。高齢者や子育て世代にも配慮した新型車両にぜひご乗車下さい。

なお、これを記念して相鉄いずみ野線 湘南台駅では「相模鉄道20000系デビュー記念写真展」を行うほか、相鉄線 横浜駅構内で同日の午前10時00分から出発式を行います。

概要は別紙のとおりです。



新型車両「20000系」の外観（右上）、高齢者に配慮した「ユニバーサルデザインシート」とベビーカー等のフリースペース（左下）、調色調光式のLED照明を採用した車内（右下）

新型車両「20000系」出発式の概要

1. 日 時 2018年(平成30年)2月11日(日・祝)
10:00~10:30
 2. 場 所 相鉄線 横浜駅3番線
 3. 内 容 ①相模鉄道(株) 代表取締役社長 滝澤秀之 挨拶
②記念くす玉割り・テープカット
③担当乗務員へ花束贈呈
④駅長による出発合図
 4. 運 行 情 報 今後の運行情報は、相鉄グループウェブサイトでお知らせします。
 5. 関連イベントのご案内 「相模鉄道20000系デビュー記念写真展」
展示期間：2018年(平成30年)2月11日(日・祝)～終了時期未定
展示場所：相鉄いずみ野線 湘南台駅(改札内) コンコース
 6. そ の 他 ①ホームが狭隘^{きょうあい}なためご覧いただけない場合がございます。
②専用の観覧スペースはございません。
③当日の運行や混雑状況等により中止となる場合がございます。
- お問い合わせ先 相鉄お客様センター 電話045-319-2111
(平日 9:00~19:00、土・休日 9:00~17:00)

都心への相互直通運転

相鉄・JR直通線〔2019年度(平成31年度)下期開業予定〕は、相鉄線西谷駅とJR東海道貨物線横浜羽沢駅付近間に連絡線(約2.7km)を新設し、この連絡線を利用して相鉄線とJR線が相互直通運転を行うものです。また、相鉄・東急直通線〔2022年度(平成34年度)下期開業予定〕は、JR東海道貨物線横浜羽沢駅付近と東急東横線・目黒線日吉駅間に連絡線(約10.0km)を新設し、この連絡線を利用して相鉄線と東急線が相互直通運転を行うものです。この横浜市西部および神奈川県央部と東京都心部とを直結する新たな路線の開業により、広域鉄道ネットワークの形成と機能の高度化がなされ、所要時分の短縮や乗換回数の減少など、鉄道の利便性向上が図られるとともに、地域の活性化等に寄与します。新幹線へのアクセスの向上や相鉄線沿線等のさらなる発展にも貢献します。



※デザインブランドアッププロジェクト

相鉄グループは、2017年(平成29年)12月に創立100周年を迎え、その後も都心への相互直通運転を予定していることから、お客さまとの最大の接点となる鉄道の駅舎や車両、駅に隣接する商業施設などを統一されたデザインコンセプトに基づきリニューアルを進め、認知度や好感度を高めることで「選ばれる沿線」を実現するための取り組みです。

新型車両「20000系」の概要

1. 営業運転開始

2018年(平成30年)2月11日(日・祝) 10:30～(予定)

2. 導入車両数

1編成(10両) (7000系車両の代替)

※2022年度(平成34年度)下期(予定)の相鉄・東急直通線の開業時まで順次導入予定。
※相鉄・JR直通線用の車両は、現在検討を進めています。

3. 開発コンセプト

安全×安心×エレガント ～目先のトレンドに左右されない「醸成するデザイン」～

4. 主な特徴 (◎ 相鉄線初)

①快適性の向上

◎「ユニバーサルデザインシート」を一部の優先席に導入
立ち座りを容易にするため座席の高さを上げ、座り心地を損ねない範囲で座面を小さくしたシート。座席下部に大型の荷物が収納でき、荷棚が使いにくいお客さまでも安全にご利用いただけます。

◎ベビーカー、車椅子用のフリースペースを全車両に設置

◎「ナノイー」*搭載の空気清浄機を導入

◎「個別ドアスイッチ」を全てのドアに導入

空調効果を高めるために始発駅等でお客さまによりドアの開閉ができます。

◎座席端部の仕切り板の大型化

座席端部の仕切り板に強化ガラスを採用し、荷棚まで届く形状にすることでドア付近にお立ちのお客さまの荷物等による着席しているお客さまへの干渉を緩和します。

・日差しを遮る「ブラインド」を復活

・相鉄線の特徴でもある「車内の鏡」を復活

・時間帯で変化する調色調光式のLED照明を採用

・2016年度GOOD DESIGN賞を受賞した「つり革」を採用

・ロングシート座席は座り心地を改良し、ランダムパターンを施した汚れが目立たない生地を採用

②車内での情報提供の強化

◎ドア上や通路の天井に大画面案内表示器(21.5インチ)を設置

◎見やすさ向上のため通路の天井に広告画面を設置

・全車両でWi-Fiを提供

※Wi-Fiをご利用になるには、通信事業者との契約が必要です。

③環境への配慮

◎新型素子(SiC素子)を採用したVVVFインバータ制御装置と高効率電動機の併用や、室内灯、各種灯火類のLED化により消費電力を低減

・密閉型主電動機や防音車輪の採用により騒音を低減

④安全・安心の更なる向上

◎急曲線等での安全性を向上させた専門メーカー製台車

◎車両情報を司る装置にイーサネット方式を採用し、安全性やメンテナンス性を向上

・車内の非常通報装置を増設

5. 車両製造会社

㈱日立製作所

6. デザイン設計

㈱PRODUCT DESIGN CENTER

*「ナノイー」は、パナソニック株式会社の登録商標です。

■「デザインブランドアッププロジェクト」公式ウェブサイト

(<http://www.sotetsu.co.jp/design-pj/20000/>)

※電車の製造の様子等を動画でご覧いただけます。



公式ウェブサイト